



農大二中進路通信

令和5年11月1日(水)
第15号 農二進路指導部

まっすぐな頑張りを！

リビングに置いてある観葉植物の葉が窓の方に向かって大きく傾いています。葉の形を整えようとぐるりと鉢の向きを変えると、植物は太陽の光がさす方向へゆっくりと伸びていきます。自然の摂理でごく当たり前のことではありますが、太陽という目標に向かって植物はまっすぐに伸びていきます。みなさんには目標、または夢がありますか？自分たちの心がどこに向いているかによって日々の生活の取り組みは違ってきます。



先日、数学の単元テストがありました。「やった～！」と初めて数学のフォローアップにかからずとても喜んでいた生徒がいました。「今度こそ！今度こそ！」と思いつつもフォローアップを回避できずにいましたが、今回初めて回避できました。小さな目標かもしれませんが、その目標に向かってまっすぐに努力した成果がやっと出ました。ある生徒は過去形の動詞テストで100点中96点をとりました。毎回フォローアップにかかる生徒です。「やったね！すごいじゃん！」と声を掛けると、「最初練習をしたときは2問しか書けませんでした。でも、悔しいから毎日毎日練習しました！」と合格点を取ったことを誇らしげに、そして嬉しそうに話をしていました。まっすぐな頑張りに胸が熱くなります。最近こうした生徒が増えているように思えます。「農二中プライド」というか「農二中負けじ魂」というか、「このままじゃ絶対嫌だ！」と頑張りを見せる生徒を目にします。何度も言いますが、みんなは難しい入試を突破するために一生懸命努力してきた頑張り屋さんたちです。勝利を勝ち取ったという農二プライドを持って頑張ってください。



生きている上で晴天の日ばかりではありません。雨の日も風の日も、そして嵐の日もありますが、常に太陽は昇っています。時に見えづらい日もありますが、必ず太陽はそこにあるのです。それに向かって植物はまっすぐに伸びています。自分の夢や目標がその日の気分で見えづらい日もあるかもしれませんが、みんなの心には「がんばりたい」何かがあるはず。どこまでもその目標や夢に向かって歩みを止めず、前に進んでほしいと思います。

重要

ドラマアクティブラーニング公開のお知らせ

12月11日(月)～12日(火)に外部から講師をお招きして、英語劇のワークショップを行います。英語劇を通じて、英語力UPはもちろん、自己開示力、そして、英語を言語として捉えながら状況に合わせて表情や言い方を変えるなどの表現力UPを目指します。12日の午後に各クラス、グループでの劇の発表会を武揚ホールにて行います。詳細は後日お知らせしますが、保護者の方々も自由に観覧できますので、ご都合がございましたらぜひご参加し、お子様の頑張りを見てあげてください。

親子進路ガイダンス（駿台より）

10月27日(金)に駿台中学生テストセンターより田村明宏先生を講師としてお招きし、農大二中親子進路ガイダンスを実施いたしました。今回は8月下旬に実施された駿台中学生学力テストの結果を踏まえ、6年間の継続した段階的な学習の進め方や今後の学習の仕方について、講義をしていただきました。講義の中で、数学は数をこなし演習をしていく中で知識がつき、スピードが上がっていき、精度も上がっていくとおっしゃられていました。小問集合の問題ではしっかりと文章を読みながら解答していくという意味ではある程度の読解力が求められました。数学も論理力、読解力が必要です。英語に関しては未習の文法はできなくても仕方ないですが、基本的な英単語は書けるようにならなくてはなりませんね。ただ、並び替え問題に関しては普段の KEY POINTs の練習の成果が出ていたようです。国語では漢字の取りこぼしがあり、全国と比べて正答率が低い問題が多々ありました。入学時、国語が得意な生徒も多かったと思いますが、新出漢字は練習しないと書けるようになりません。文の構成要素は語彙ですので語彙を増やすこと、漢字を書けるようになることは大切です。さらに、国語に関しては量を読むことの大事さを強調していました。日々の学習の中でできることをしっかりとやっていきましょう。講師の先生がおっしゃっていましたが、君たちは“いい感じ”です。この調子で日々学習を進め、次なる高みを目指していこう！



中等部朝礼より

10月16日(月)1時間目に中等部朝礼があり、校長先生から「言葉」の大切についてお話がありました。人が何かを成し遂げていく上で一人では成し遂げることはできません。必ず同志がいて、その仲間たちとコミュニケーションをとり、協力していく必要があります。相手とのコミュニケーションをする上で大切なことは「言葉」の使い方です。今回の校長先生の話聞いてみなさんはどう思ったでしょうか？以下は生徒からの感想です。

- 『校長先生の話聞いて』言葉は普段何気なく使っていますが、あまり深く考えていなかったの言葉について考える機会ができてとても良い時間だったと思います。言葉は上手く使えば励ましや原動力にもなるし、使い方を間違えれば凶器にもなることを改めて実感しました。自分が日常で使っている中で、もしかしたら人を傷つけることがあったかもしれないと思うと言葉の使い方には十分に注意しようと思いました。
- 校長先生の話聞いて自分の言葉遣いや言動について深く考える良い機会となりました。僕は今まで失言をしたり、よくない言葉を使い、人を不快にさせてしまい、後悔するようなことが多々ありました。これを機に今一度自分の言葉遣いに気にかけていこうと思いました。
- 私は日常会話でも自分が言った言葉で相手が傷つかないかなということは考えていますが、特に気を使っているのは line です。文字にして相手に送るものなので必ず自分で読み返して確認しています。以前学年主任の先生がインターネット上では相手の表情や声色が分からないためトラブルが起こりやすいとおっしゃっていたのでそれからよく気を付けています。今日校長先生が話されていたことは対面の会話だけでなくインターネット上でも大切なことなのだと思います。

前橋戦跡巡り

10月14日(土)に前橋市の戦争遺産を見学に行きました。国語では毎年2学期に戦争教材を扱います。授業では映像や写真も参考に授業を進めますが、生徒の皆さんにはなるべく体験を伴った学びをしてもらいたいと考えています。今回は、私たちの身近なところに残る戦争の爪痕を見たり、被災後の写真と現在の様子を見比べたりすることで当時の人々や状況に思いを巡らせ、生徒それぞれに何かを感じてほしい、と思って企画しました。



まず、防空壕跡地の慰霊碑で黙祷を捧げ、近くの比刀根橋に残る爆弾の炸裂痕を見学しました。旧安田銀行担保倉庫では、前橋空襲で焦げた壁、当時の消火栓が残っています。また、ここでは今年発見された空襲で焼けて溶けた瓶、防空壕の壁や空襲後の写真、資料を見せていただきました。(農二中のために管理者の方が資料を展示してくださっていました。)前橋駅まではレトロな街並み、おしゃれな街並みを通りました。今回の見学で見たこと感じたことがこれからの生活のどこかで生きることを期待しています。以下は生徒の感想です。



- 今回の見学では、自分が知らなかったことを新たに知ったり、教科書や本でしか知らなかったものを生で見たりすることができました。1番印象に残っているのは、やはり、旧安田銀行担保倉庫で見た資料です。「B29」「マッカーサー」などの自分が授業や教科書で見聞きしたことのあるような言葉が新聞記事に多数載っていて、現実にあったんだという少し不思議な気持ちになりましたが、当時の気温や死者数が具体的な数値で書かれていて、当たり前のことですが現実だったんだなと自分の中で感じました。
- 弾丸の痕が残る橋や慰霊碑、防空壕に行き、旧安田銀行担保倉庫で色々な資料を見ました。中でも、米軍が撒いた伝単が一番怖かったです。そして、戦争直後の写真と比べるとだいぶ復興したなと思いました。
- 炸裂痕(弾痕)が残った橋や黒く焦げた建物、その中にある戦争についての展示物、慰霊碑や道路など、様々なものを見て、戦争の悲惨さを学ぶことができました。
- 防空壕は想像よりも小さかったり、頑丈そうな建物にも被害の痕が沢山あったり実際に目で見て改めて知ることがありました。また、倉庫で見せていただいた資料に戦時中のアメリカからの手紙がありました。そこには「近日、裏に記載している地域に爆弾を落とす。避難してくれ」といった内容が書かれていました。敵兵もやりたくて戦争をやっているわけじゃない、爆弾を落としているわけじゃないと、知ることができ、いい経験になりました。
- 防空壕はあの大きさと六人分かと思うととても狭いと思いました。戦争の跡自体はそんなに残っていませんでしたが、写真や資料からここでたくさんの人が亡くなって傷ついたことがわかりました。これでもまだ空襲だけなので原爆となるとさらに悲惨なことになっていたと思うので戦争というのは本当に何も生み出さない、あってはならないものだと思いました。

NI 探究に向けた問題発見・解決セミナー

10月17日(火)東京農業大学より志和地先生をお招きし、NI探究に向けて問題発見・解決セミナーを行いました。志和地先生は国際協力のスペシャリストとして働かれたネパールでの経験を交えながら、問題発見・解決のためにはどうすればよいかということをご講義してくださいました。貧困がなくなるのは何故か？専門家になるために必要なことは何か？など問いながら生徒は理解を深めました。先生は問題は見つけるものではなく気づきが大切であるということを強調していました。ネパールでは感染症が多く、トイレがないため、大変に不衛生な状況であったといいます。その状況を改善する為、トイレを日本人が作っても、使ってくれなかったところ、現地の人にも作るのを手伝ってもらったら、使ってくれるようになったそうです。世の中にはさまざまな問題があります。そこに住んでいる人には普通の事でも別社会の人から見れば大きな問題がある事が分かります。私たちが今行っている探究においても同様で、中学生の観点から物事を柔軟に考え、解決策を提案する。その過程で必要なことはどれだけ物事を客観視できるかによって現状ある問題に気づけます。しっかりと現在起きていることに目を向け、考えながら課題を設定してほしいと思います。



以下は生徒からの感想です。

- 小学校の頃に青年海外協力隊について学習していたので、具体的な取り組みを知れて面白かった。探求活動をしていく上では一部の人の意見だけではなく、様々な人の意見を参考にした方が良いことがわかった。
- 世界では貧困や差別などの問題があることがわかりました。志和地先生はその問題を解決しようと様々な研究をしたり、実際に現地に行ったりするなど、すごく勇気があり、困っている人を一生懸命に助けようとする優しい心を持った人柄に感動しました。
- 課題設定をした後、その課題がある場所の文化や習慣にあった解決法を考えなければならぬのはすごく大変だと思った。またその場所を調べるだけでなく、実際に行ってみて感じたり発見があるのだと気づいた。そして課題を解決したら終わりではなく、新たな問題を見つけたりその課題と関連があることを調べることが大切だと言うことを学びました。

重要

第三回親子進路ガイダンスのお知らせ

12月1日(金)期末テスト後(13:00~14:00予定)にはベネッセより講師をお招きし、第三回親子進路ガイダンスを行います。先日お伝えしたように保護者の方々も対象となり、自由に参加できますので、ご都合がつかましたらぜひご参加ください。

行事予定

| | |
|--------------------|----------------------|
| 11月8日(水) | 総合学習ワークショップ 農大より江口先生 |
| 11月13日(月) | 合唱コンクール |
| 11月16日(木) | きのこ校外研修 |
| 11月28日(火)~12月1日(金) | 期末テスト |
| 12月1日(金) | 第三回親子進路ガイダンス(ベネッセより) |
| 12月11日(月)~12日(火) | ドラマアクティブラーニング |